



2018.11.21 News 「外国人材の受け入れに関する諸問題」

未来を創る財団國松孝次会長は、11月19日、20日の両日、神戸新聞社の招聘で兵庫県丹波、但馬地方を歴訪。

「外国人材の受け入れに関する諸問題」について講演した。

19日、丹波市柏原町では、労働力を確保し生産性を維持するためには、外国人の受け入れを広げざるを得ない。社会の安定性を保ちながら受け入れを拡大していく仕組みづくりに知恵を絞ることが望まれると語った。

国会で審議中の入国管理法改正にふれ、既に日本で暮らす外国人は2%いる。廃案になれば、現在の野放図状態がさらに続く。まずは器を作ることの意義を考え、外国人を適切に受け入れるため、法案の中身に知恵を絞ってほしいと述べた。



2018年11月19日 丹波同友会



2018年11月20日 神戸新聞但馬懇話会

20日の豊岡市では、日本には外国人の受け入れに関する理念や政策がない現状、1999年から大使を務めたスイスでは人口の25%を占める外国人が産業を支える、と紹介。

多文化共生の観点だけでなく、社会の安全安心を保つためにも、外国人を受け入れるしつかりした仕組みづくりが不可欠と語った。

技能実習生、留学生らにもふれ、人材がほしいのは日本だけではない。処遇がしつかりしていなければ、来てくれなくなる。定住外国人を受け入れる理念を明らかにし、国の責任で日本語教育などにも取り組むべきだと述べた。